

## 第3章 在宅介護実態調査

---



## 第3章 在宅介護実態調査

この調査の集計にあたり、調査対象者が介護している家族等（以下、「被介護者」という。）の年齢階級・性別・要介護度等の属性は、この調査と合わせて実施した「①要介護認定者調査」の回答を使用している。

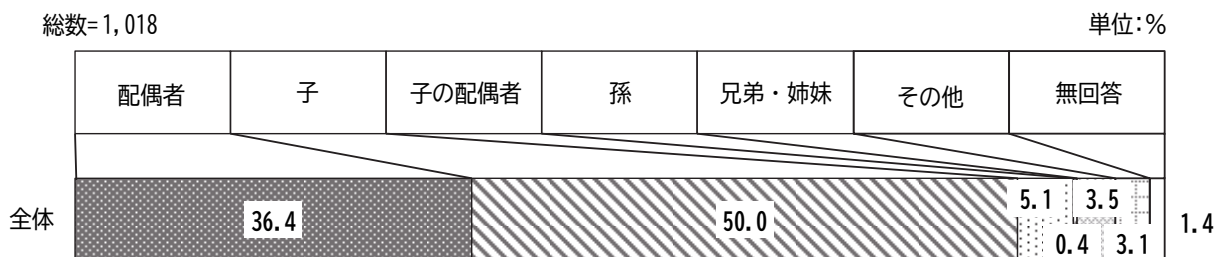
### 1 主な介護者の状況について

#### (1) 主な介護者と被介護者との関係

問1 封筒のあて名の方を主に介護している方(主な介護者)は、どなたですか。(○は1つ)  
※封筒のあて名の方から見た続柄をお答えください。

主な介護者は、「子」の割合が50.0%で最も高く、次いで「配偶者」が36.4%、「子の配偶者」が5.1%となっている。

図表3-1-1 主な介護者と被介護者の関係

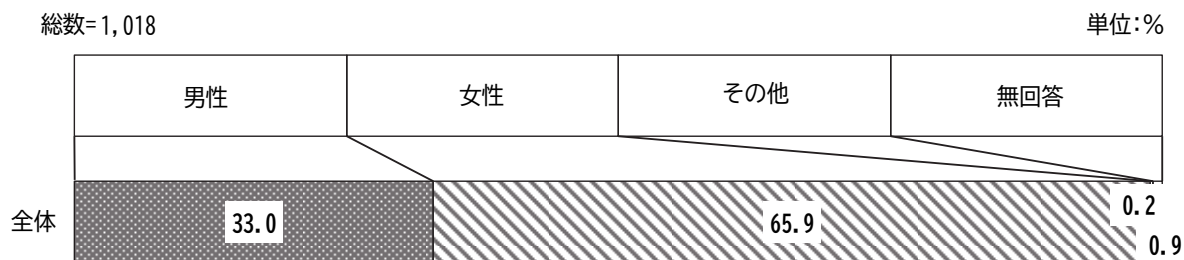


## (2) 主な介護者の性別

問2 主な介護者の方の性別を教えてください。(〇は1つ)

主な介護者の性別は、「女性」の割合が65.9%、「男性」が33.0%となっている。

図表3-1-2 主な介護者の性別

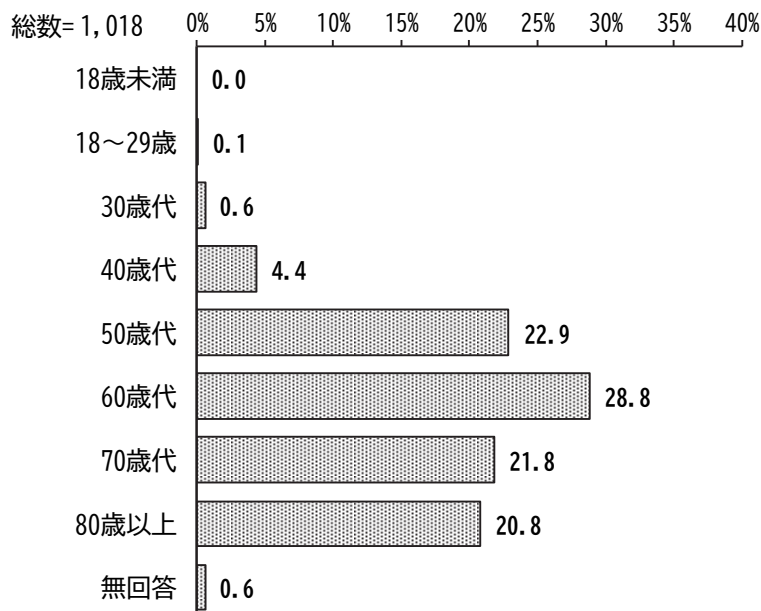


## (3) 主な介護者の年齢

問3 主な介護者の方の年齢を教えてください。(〇は1つ)

主な介護者の年齢は、「60歳代」の割合が28.8%で最も高く、次いで「50歳代」が22.9%、「70歳代」が21.8%、「80歳以上」が20.8%となっている。

図表3-1-3 主な介護者の年齢



被介護者の年齢階級を主な介護者の年代別にみると、被介護者の年齢階級の割合が最も高いのは、「50歳代」の介護者では「85～89歳」が41.6%、「60歳代」の介護者では「90歳以上」が52.6%、「70歳代」の介護者では「75～79歳」が30.2%、「80歳以上」の介護者では「85～89歳」が32.5%となっている。

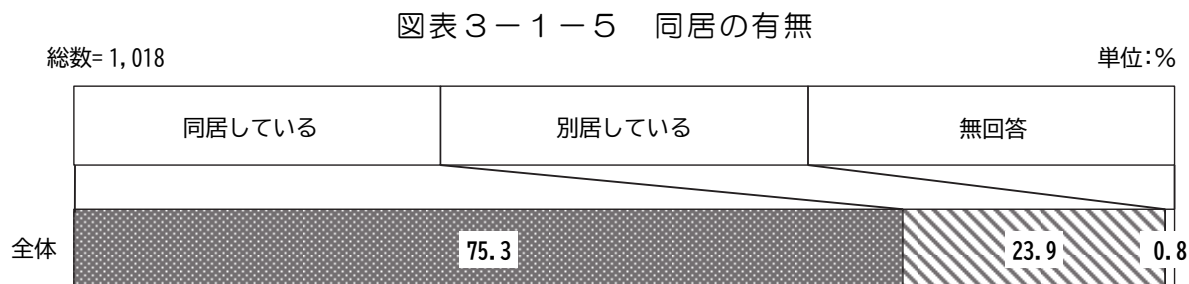
図表3-1-4 被介護者の年齢階級（主な介護者の年代別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	被介護者の年齢階級							
			64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体		1,018 100.0	30 2.9	31 3.0	66 6.5	106 10.4	165 16.2	261 25.6	298 29.3	61 6.0
主な介護者の年代	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
	30歳代	6 100.0	-	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-	-	1 16.7	1 16.7
	40歳代	45 100.0	3 6.7	1 2.2	5 11.1	10 22.2	13 28.9	5 11.1	5 11.1	3 6.7
	50歳代	233 100.0	10 4.3	3 1.3	-	12 5.2	54 23.2	97 41.6	44 18.9	13 5.6
	60歳代	293 100.0	10 3.4	21 7.2	18 6.1	4 1.4	9 3.1	65 22.2	154 52.6	12 4.1
	70歳代	222 100.0	2 0.9	5 2.3	39 17.6	67 30.2	28 12.6	23 10.4	47 21.2	11 5.0
	80歳以上	212 100.0	5 2.4	-	2 0.9	11 5.2	61 28.8	69 32.5	44 20.8	20 9.4
	無回答	6 100.0	-	-	-	1 16.7	-	2 33.3	3 50.0	-

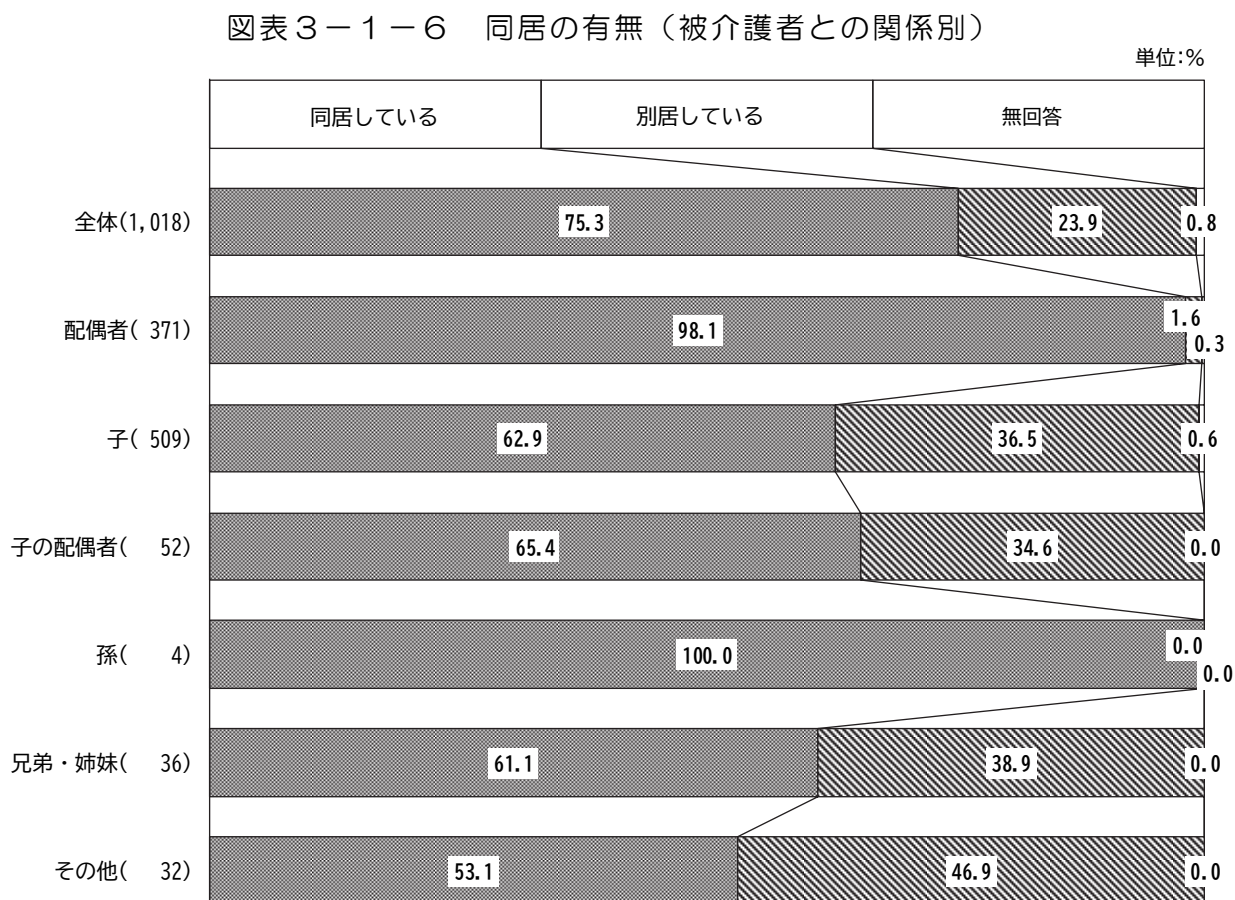
#### (4) 被介護者との同居の有無

問4 主な介護者の方は、封筒のあて名の方と同居されていますか。(○は1つ)

被介護者との同居の有無は、「同居している」の割合が75.3%、「別居している」が23.9%となっている。



同居の有無を被介護者との関係別にみると、「同居している」の割合では「配偶者」が98.1%、「子の配偶者」が65.4%、「子」が62.9%となっている。「別居している」では「兄弟姉妹」が38.9%、「子」が36.5%、「子の配偶者」が34.6%となっている。



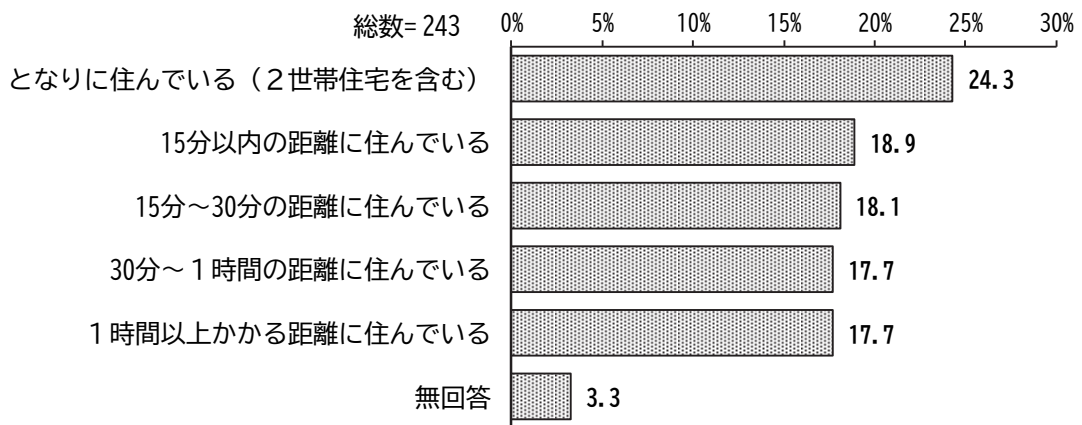
【問4で「2. 別居している」と回答した方におたずねします。】

問4-1 主な介護者の方はどちらにお住まいですか。(〇は1つ)

※通常使用する交通手段による時間でお答えください。

別居している場合の主な介護者と被介護者との距離は、「となりに住んでいる(2世帯住宅を含む)」の割合が24.3%で最も高く、次いで「15分以内の距離に住んでいる」が18.9%、「15分～30分の距離に住んでいる」が18.1%となっている。

図表3-1-7 主な介護者と被介護者との距離

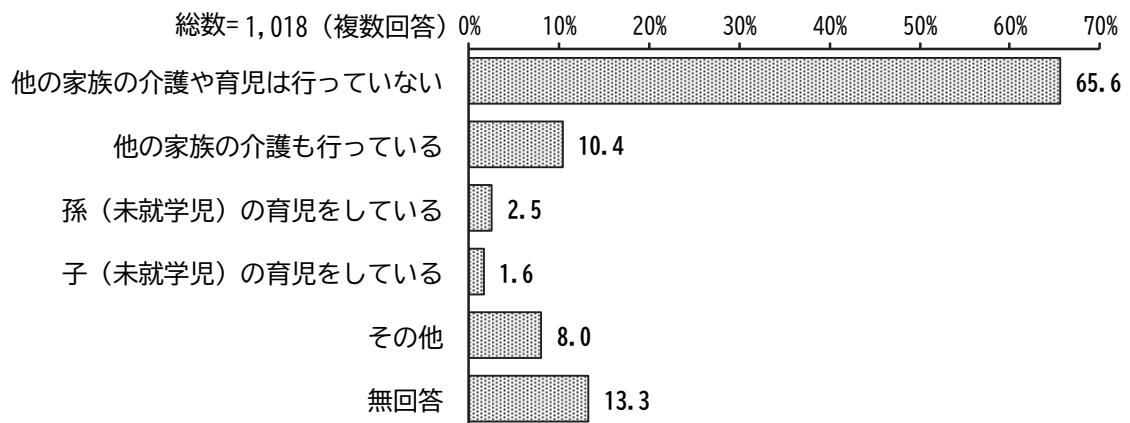


### (5) 育児や他の家族の介護の状況

問5 主な介護者の方は、封筒のあて名の方の介護以外に、育児や他のご家族の介護も行っていますか。(〇はいくつでも)

育児や他の家族の介護の状況は、「他の家族の介護や育児は行っていない」の割合が65.6%で最も高く、次いで「他の家族の介護も行っている」が10.4%、「孫(未就学児)の育児をしている」が2.5%となっている。

図表3-1-8 育児や他の家族の介護の状況



育児や他の家族の介護の状況を主な介護者の性別でみると、『育児や他の家族の介護を行っている』と回答した人の割合は、女性が16.0%、男性が11.0%で、女性が男性を5ポイント上回っている。また、主な介護者の年代別にみると、『育児や他の家族の介護を行っている』と回答した人の中では、女性の「50歳代」の「他の家族の介護も行っている」が22.6%で最も高い割合となっている。

図表3-1-9 育児や他の家族の介護の状況（主な介護者の性別・年代別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	子（未就学児）の 育児をしている	孫（未就学児）の 育児をしている	他の家族の介護も 行っている	他の家族の介護や 育児は行っていない	その他	無回答
全体		1,018 100.0	16 1.6	25 2.5	106 10.4	668 65.6	81 8.0	135 13.3
主な介護者の性別・年代	男性全体	336 100.0	4 1.2	4 1.2	29 8.6	241 71.7	23 6.8	38 11.3
	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
	30歳代	2 100.0	-	-	-	2 100.0	-	-
	40歳代	16 100.0	1 6.3	-	2 12.5	12 75.0	-	1 6.3
	50歳代	72 100.0	2 2.8	-	8 11.1	54 75.0	5 6.9	5 6.9
	60歳代	84 100.0	-	-	11 13.1	60 71.4	4 4.8	9 10.7
	70歳代	75 100.0	1 1.3	2 2.7	3 4.0	52 69.3	6 8.0	11 14.7
	80歳以上	86 100.0	-	2 2.3	5 5.8	61 70.9	8 9.3	11 12.8
	女性全体	671 100.0	11 1.6	21 3.1	76 11.3	424 63.2	58 8.6	91 13.6
	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	4 100.0	1 25.0	-	-	3 75.0	-	-
	40歳代	28 100.0	6 21.4	-	3 10.7	10 35.7	9 32.1	1 3.6
	50歳代	159 100.0	2 1.3	2 1.3	36 22.6	98 61.6	12 7.5	12 7.5
	60歳代	206 100.0	1 0.5	11 5.3	27 13.1	128 62.1	18 8.7	24 11.7
	70歳代	147 100.0	-	6 4.1	6 4.1	111 75.5	11 7.5	15 10.2
	80歳以上	126 100.0	1 0.8	2 1.6	4 3.2	73 57.9	8 6.3	39 31.0
	その他・無回答	11 100.0	1 9.1	-	1 9.1	3 27.3	-	6 54.5



育児や他の家族の介護の状況を主な介護者の勤務形態別にみると、『育児や他の家族の介護を行っている』と回答した人の割合は、「フルタイムで働いている」が18.4%、「パートタイムで働いている」が16.7%、「働いていない」が13.1%となっている。

介護者の人数別にみると、『育児や他の家族の介護を行なっている』と回答した人の割合は、「1人（主な介護者のみ）」が12.6%、「2人」が17.5%、「3人」が18.2%となっている。

図表3-1-10 育児や他の家族の介護の状況（勤務形態別、介護者の人数別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	子（未就学児）の 育児をしている	孫（未就学児）の 育児をしている	他の家族の介護も 行っている	他の家族の介護や 育児は行っていない	その他	無回答
全体		1,018 100.0	16 1.6	25 2.5	106 10.4	668 65.6	81 8.0	135 13.3
勤務 形態	フルタイムで働いている	256 100.0	11 4.3	4 1.6	32 12.5	168 65.6	23 9.0	22 8.6
	パートタイムで 働いている	168 100.0	1 0.6	3 1.8	24 14.3	111 66.1	12 7.1	18 10.7
	働いていない	505 100.0	3 0.6	18 3.6	45 8.9	346 68.5	39 7.7	62 12.3
	無回答	89 100.0	1 1.1	- -	5 5.6	43 48.3	7 7.9	33 37.1
（主な 介護者の 人数 含む）	1人（主な介護者のみ）	525 100.0	7 1.3	13 2.5	46 8.8	361 68.8	41 7.8	64 12.2
	2人	331 100.0	7 2.1	9 2.7	42 12.7	223 67.4	26 7.9	29 8.8
	3人	77 100.0	2 2.6	1 1.3	11 14.3	49 63.6	10 13.0	5 6.5
	4人以上	19 100.0	- -	- -	5 26.3	10 52.6	2 10.5	2 10.5
	無回答	66 100.0	- -	2 3.0	2 3.0	25 37.9	2 3.0	35 53.0

## 2 家族介護の状況について

### (1) 家族介護の状況

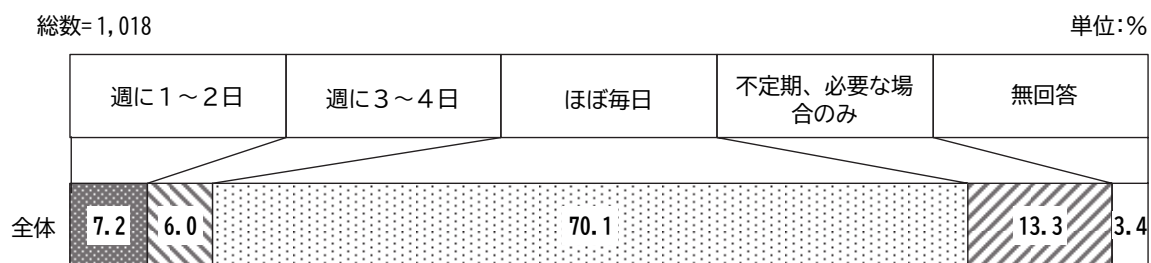
問6 封筒のあて名の方に対するご家族や親族の方の介護は、週にどのくらいありますか。

(○は1つ)

※複数のご家族が介護されている場合は、合計の日数でお答えください。

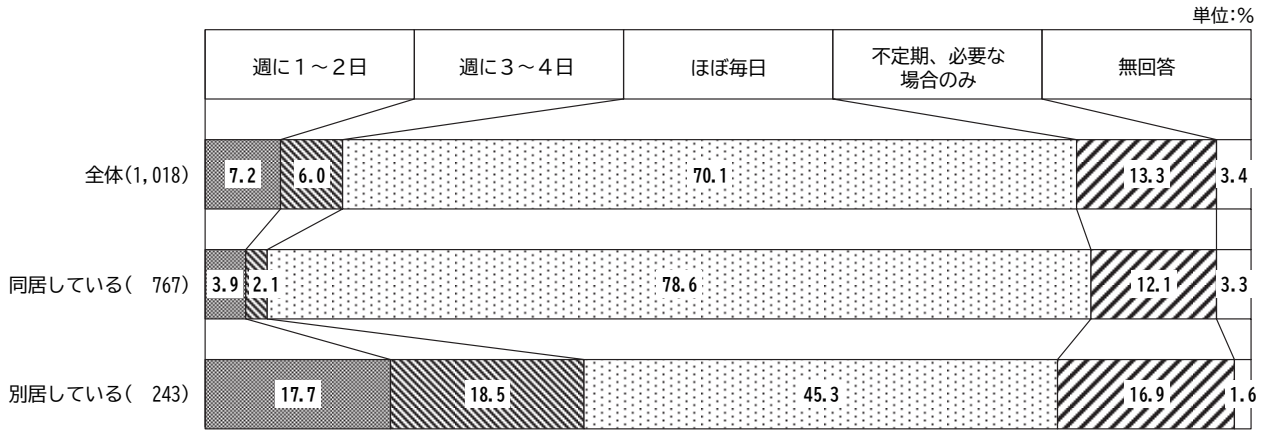
週当たりの介護の日数は、「ほぼ毎日」の割合が70.1%で最も高く、次いで「不定期、必要な場合のみ」が13.3%、「週に1～2日」が7.2%となっている。

図表3-2-1 週あたりの家族介護の日数



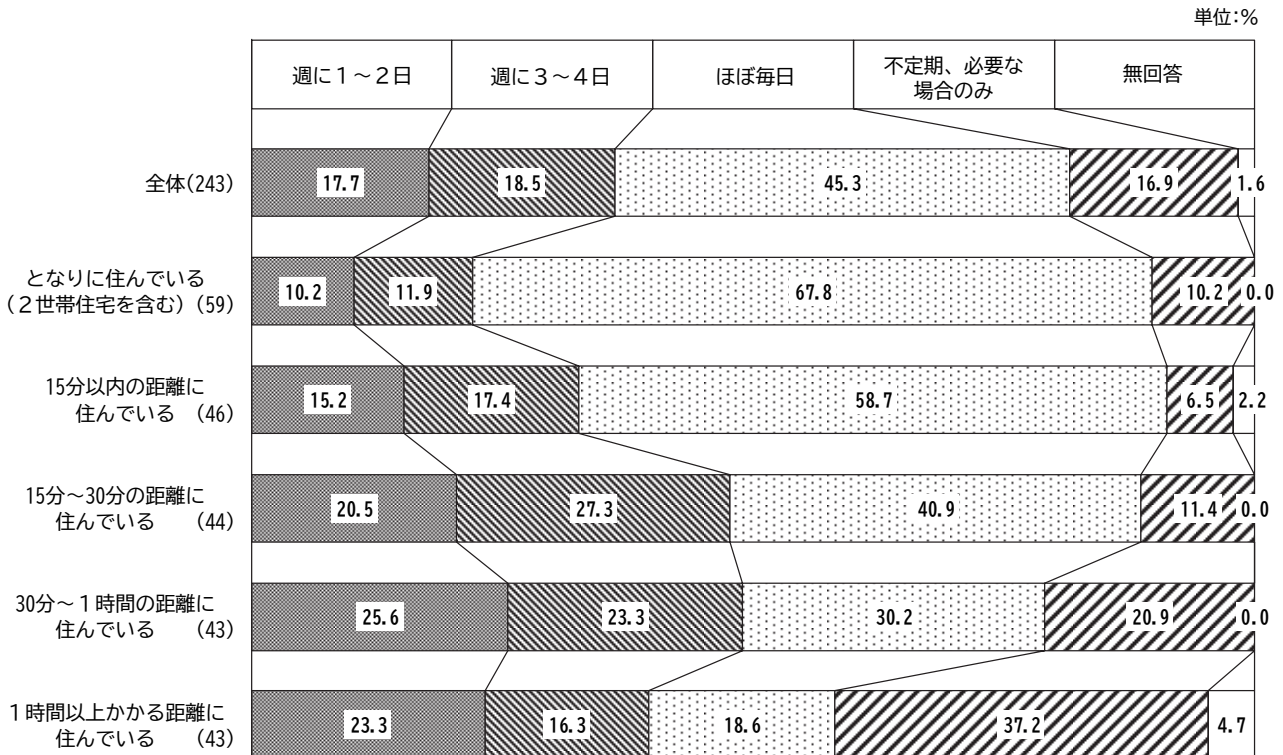
週当たりの介護の日数を同居の有無別にみると、「同居している」では、「ほぼ毎日」の割合が78.6%で最も高い。また、「別居している」では、「ほぼ毎日」の割合が45.3%で最も高く、「週に3～4日」が18.5%、「週に1～2日」が17.7%となっている。

図表3-2-2 週あたりの家族介護の日数（同居の有無別）



週当たりの介護の日数を被介護者との距離別にみると、「ほぼ毎日」では被介護者との距離が近いほど割合が高くなっている。

図表3-2-3 週あたりの家族介護の日数（被介護者との距離別）



週当たりの介護の日数を被介護者の要介護度別にみると、すべての要介護度で「ほぼ毎日」の割合が最も高い。「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」では60.2%だが、要介護度が上がるにつれて高くなり、「要介護5」では83.1%となっている。

図表3-2-4 週あたりの家族介護の日数（要介護度別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	週に1～2日	週に3～4日	ほぼ毎日	不定期、必要な場合のみ	無回答
全体		1,018 100.0	73 7.2	61 6.0	714 70.1	135 13.3	35 3.4
被介護者の要介護度	要介護1	314 100.0	28 8.9	27 8.6	189 60.2	58 18.5	12 3.8
	要介護2	258 100.0	25 9.7	12 4.7	180 69.8	33 12.8	8 3.1
	要介護3	157 100.0	7 4.5	10 6.4	123 78.3	13 8.3	4 2.5
	要介護4	103 100.0	5 4.9	4 3.9	84 81.6	8 7.8	2 1.9
	要介護5	89 100.0	2 2.2	3 3.4	74 83.1	8 9.0	2 2.2
	要支援1・2、サービス事業対象者	16 100.0	1 6.3	1 6.3	10 62.5	2 12.5	2 12.5
	わからない	9 100.0	-	-	4 44.4	3 33.3	2 22.2
	無回答	72 100.0	5 6.9	4 5.6	50 69.4	10 13.9	3 4.2

問7 封筒のあて名の方の介護には、主な介護者以外のご家族や親族は携わっていますか。(ヘルパー等は含まないでお答えください)(〇は1つ)

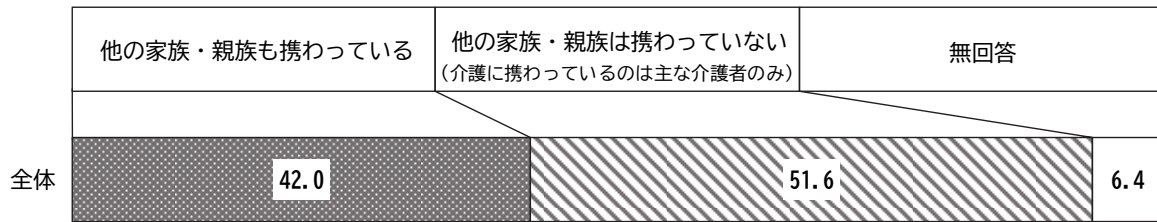
※介護の頻度や時間数の多寡は問いません。

主な介護者以外の家族・親族の介護への関わりは、「他の家族・親族は携わっていない(介護に携わっているのは主な介護者のみ)」が51.6%、「他の家族・親族も携わっている」が42.0%となっている。

図表3-2-5 主な介護者以外の家族・親族の介護への関わり

総数= 1,018

単位:%



【問7で「1. 他の家族・親族も携わっている」と回答した方におたずねします。】

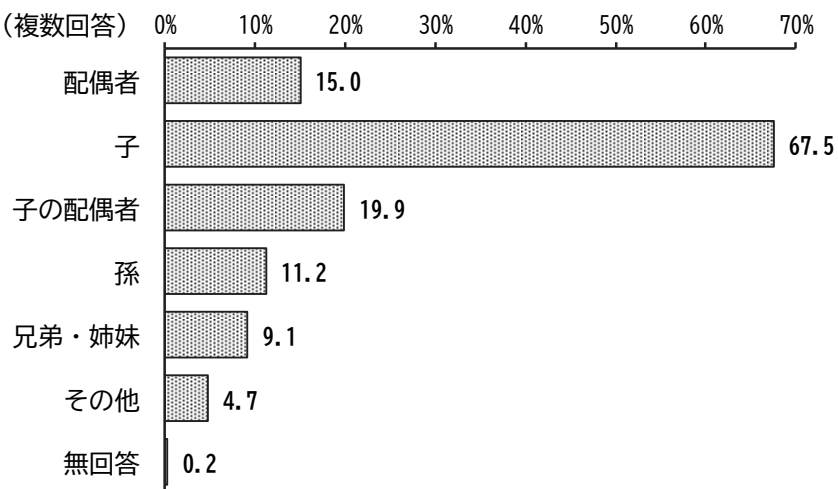
問7-1 主な介護者以外に、どなたが携わっていますか。(〇はいくつでも)

※封筒のあて名の方から見た続柄をお答えください。

主な介護者以外に介護に携わる家族・親族は、「子」の割合が67.5%で最も高く、次いで「子の配偶者」が19.9%、「配偶者」が15.0%となっている。

図表3-2-6 主な介護者以外に介護に携わっている家族・親族

総数= 428 (複数回答)



主な介護者以外に介護に携わる家族・親族を主な介護者別にみると、「兄弟姉妹」を除くすべての区分で「子」の割合が最も高くなっている。

また、主な介護者が「子」では、「子」（主な介護者以外の子）に加え、「子の配偶者」が携わる割合が高くなっている。

図表3-2-7 主な介護者以外に介護に携わっている家族・親族（主な介護者別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	介護に携わっている他の家族・親族						
			配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		428 100.0	64 15.0	289 67.5	85 19.9	48 11.2	39 9.1	20 4.7	1 0.2
主な介護者	配偶者	120 100.0	12 10.0	108 90.0	15 12.5	10 8.3	3 2.5	4 3.3	1 0.8
	子	244 100.0	43 17.6	142 58.2	64 26.2	26 10.7	27 11.1	10 4.1	-
	子の配偶者	40 100.0	5 12.5	30 75.0	5 12.5	9 22.5	-	-	-
	孫	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-
	兄弟・姉妹	10 100.0	2 20.0	2 20.0	-	1 10.0	7 70.0	1 10.0	-
	その他	9 100.0	2 22.2	4 44.4	-	-	2 22.2	4 44.4	-
	無回答	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	-	-

介護に携わる人数を主な介護者別にみると、「配偶者」、「子」、「兄弟・姉妹」は「1人（主な介護者のみ）」の割合が最も高い。また、「子の配偶者」は「2人」の割合が最も高い。

図表3-2-8 介護者の人数（主な介護者別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

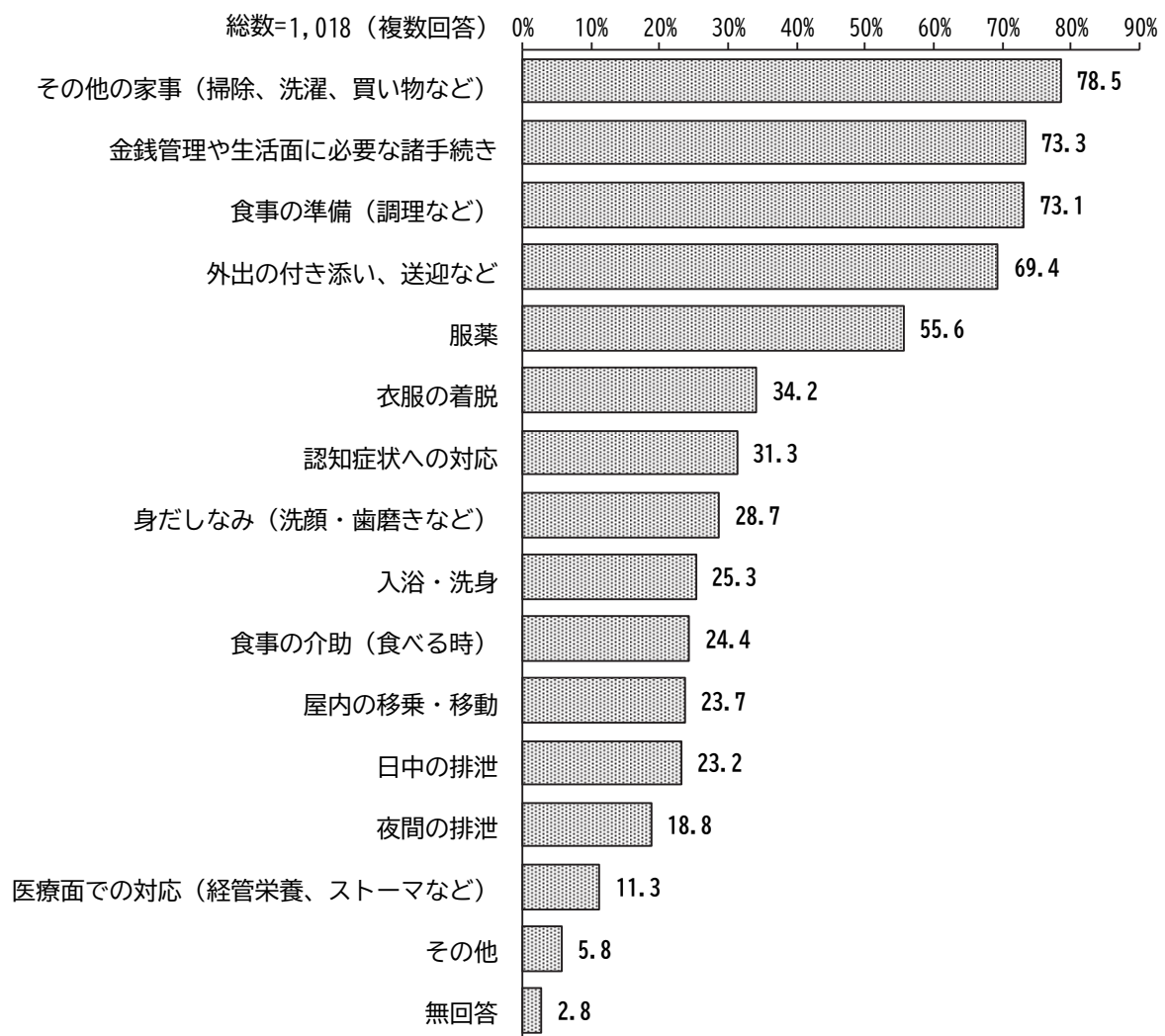
		全体	介護者の人数				
			（主な介護者のみ） 1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体		1,018 100.0	525 51.6	331 32.5	77 7.6	19 1.9	66 6.5
主な介護者	配偶者	371 100.0	215 58.0	95 25.6	17 4.6	7 1.9	37 10.0
	子	509 100.0	251 49.3	186 36.5	49 9.6	9 1.8	14 2.8
	子の配偶者	52 100.0	10 19.2	32 61.5	7 13.5	1 1.9	2 3.8
	孫	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0
	兄弟・姉妹	36 100.0	23 63.9	8 22.2	1 2.8	1 2.8	3 8.3
	その他	32 100.0	20 62.5	7 21.9	1 3.1	1 3.1	3 9.4
	無回答	14 100.0	5 35.7	2 14.3	1 7.1	-	6 42.9

## (2) 主な介護者が行っている介護の内容

問8 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、お答えください。(〇はいくつでも)

主な介護者が行っている介護の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」の割合が78.5%で最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.3%、「食事の準備（調理など）」が73.1%となっている。

図表3-2-9 主な介護者が行っている介護の内容





主な介護者が行っている介護の内容を介護の頻度別にみると、「ほぼ毎日」では全ての介護内容で高い割合となっている。特に、「食事の準備（調理など）」、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物など）」では85%を超えている。

また、「週3～4日」では「外出の付き添い、送迎など」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が73.8%で最も高く、「週1～2日」では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物など）」の割合が69.9%で最も高くなっている。

図表3-2-10 主な介護者が行っている介護の内容（介護の頻度別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	（洗顔・身だしなみ・歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など
全体		1,018 100.0	236 23.2	191 18.8	248 24.4	258 25.3	292 28.7	348 34.2	241 23.7	707 69.4
介護の頻度	週に1～2日	73 100.0	3 4.1	3 4.1	7 9.6	9 12.3	3 4.1	3 4.1	5 6.8	42 57.5
	週に3～4日	61 100.0	8 13.1	4 6.6	7 11.5	9 14.8	8 13.1	12 19.7	9 14.8	45 73.8
	ほぼ毎日	714 100.0	215 30.1	175 24.5	223 31.2	225 31.5	266 37.3	314 44.0	211 29.6	537 75.2
	不定期、必要な場合のみ	135 100.0	9 6.7	7 5.2	8 5.9	9 6.7	13 9.6	14 10.4	14 10.4	69 51.1
	無回答	35 100.0	1 2.9	2 5.7	3 8.6	6 17.1	2 5.7	5 14.3	2 5.7	14 40.0

		服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	（掃除、洗濯、買い物など） その他の家事	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	無回答
全体		566 55.6	319 31.3	115 11.3	744 73.1	799 78.5	746 73.3	59 5.8	28 2.8
介護の頻度	週に1～2日	19 26.0	14 19.2	6 8.2	23 31.5	51 69.9	42 57.5	4 5.5	2 2.7
	週に3～4日	27 44.3	17 27.9	3 4.9	44 72.1	44 72.1	45 73.8	4 6.6	1 1.6
	ほぼ毎日	472 66.1	265 37.1	96 13.4	611 85.6	625 87.5	567 79.4	34 4.8	6 0.8
	不定期、必要な場合のみ	38 28.1	18 13.3	9 6.7	50 37.0	64 47.4	82 60.7	13 9.6	4 3.0
	無回答	10 28.6	5 14.3	1 2.9	16 45.7	15 42.9	10 28.6	4 11.4	15 42.9

主な介護者が行っている介護の内容を主な介護者の性別で見ると、「食事の準備（調理など）」、「衣服の着脱」、「服薬」、「入浴・洗身」で、女性が男性を10ポイント以上上回っている。

図表3-2-11 主な介護者が行っている介護の内容（性別・年代別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	（洗顔・歯磨きなど） 身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎など	
全体	1,018 100.0	236 23.2	191 18.8	248 24.4	258 25.3	292 28.7	348 34.2	241 23.7	707 69.4	
主な介護者の性別・年代	男性全体	336 100.0	72 21.4	60 17.9	79 23.5	63 18.8	78 23.2	86 25.6	77 22.9	217 64.6
	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0
	40歳代	16 100.0	2 12.5	-	1 6.3	1 6.3	2 12.5	-	-	9 56.3
	50歳代	72 100.0	15 20.8	13 18.1	14 19.4	6 8.3	17 23.6	17 23.6	17 23.6	52 72.2
	60歳代	84 100.0	17 20.2	12 14.3	18 21.4	19 22.6	17 20.2	19 22.6	19 22.6	57 67.9
	70歳代	75 100.0	16 21.3	16 21.3	17 22.7	17 22.7	20 26.7	24 32.0	17 22.7	43 57.3
	80歳以上	86 100.0	21 24.4	18 20.9	28 32.6	19 22.1	21 24.4	25 29.1	23 26.7	54 62.8
	女性全体	671 100.0	162 24.1	130 19.4	169 25.2	193 28.8	213 31.7	259 38.6	162 24.1	485 72.3
	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	4 100.0	4 100.0	4 100.0	3 75.0	2 50.0	4 100.0	4 100.0	4 100.0	2 50.0
	40歳代	28 100.0	5 17.9	5 17.9	4 14.3	4 14.3	5 17.9	7 25.0	6 21.4	21 75.0
	50歳代	159 100.0	27 17.0	18 11.3	34 21.4	46 28.9	45 28.3	52 32.7	42 26.4	123 77.4
	60歳代	206 100.0	51 24.8	38 18.4	51 24.8	62 30.1	60 29.1	82 39.8	47 22.8	152 73.8
	70歳代	147 100.0	41 27.9	31 21.1	37 25.2	48 32.7	53 36.1	65 44.2	32 21.8	105 71.4
	80歳以上	126 100.0	34 27.0	34 27.0	40 31.7	30 23.8	46 36.5	48 38.1	31 24.6	81 64.3
	その他・無回答	11 100.0	2 18.2	1 9.1	-	2 18.2	1 9.1	3 27.3	2 18.2	5 45.5

服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマなど)	食事の準備(調理など)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物など)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	無回答	
566 55.6	319 31.3	115 11.3	744 73.1	799 78.5	746 73.3	59 5.8	28 2.8	全体
161 47.9	91 27.1	43 12.8	201 59.8	248 73.8	230 68.5	19 5.7	11 3.3	男性全体
-	-	-	-	-	-	-	-	18歳未満
-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	18~29歳
1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-	30歳代
4 25.0	3 18.8	-	8 50.0	9 56.3	12 75.0	3 18.8	-	40歳代
38 52.8	27 37.5	13 18.1	43 59.7	54 75.0	52 72.2	7 9.7	4 5.6	50歳代
42 50.0	18 21.4	12 14.3	49 58.3	69 82.1	65 77.4	2 2.4	1 1.2	60歳代
31 41.3	13 17.3	6 8.0	44 58.7	52 69.3	41 54.7	2 2.7	4 5.3	70歳代
45 52.3	30 34.9	11 12.8	55 64.0	62 72.1	58 67.4	5 5.8	2 2.3	80歳以上
401 59.8	225 33.5	72 10.7	538 80.2	545 81.2	511 76.2	37 5.5	14 2.1	女性全体
-	-	-	-	-	-	-	-	18歳未満
-	-	-	-	-	-	-	-	18~29歳
4 100.0	2 50.0	2 50.0	4 100.0	4 100.0	4 100.0	-	-	30歳代
12 42.9	8 28.6	1 3.6	21 75.0	21 75.0	22 78.6	1 3.6	1 3.6	40歳代
96 60.4	62 39.0	10 6.3	122 76.7	128 80.5	129 81.1	9 5.7	3 1.9	50歳代
128 62.1	73 35.4	23 11.2	172 83.5	179 86.9	168 81.6	8 3.9	1 0.5	60歳代
87 59.2	36 24.5	21 14.3	122 83.0	124 84.4	105 71.4	13 8.8	3 2.0	70歳代
74 58.7	44 34.9	15 11.9	96 76.2	88 69.8	83 65.9	6 4.8	6 4.8	80歳以上
4 36.4	3 27.3	-	5 45.5	6 54.5	5 45.5	3 27.3	3 27.3	その他・無回答

主な介護者の性別・年代

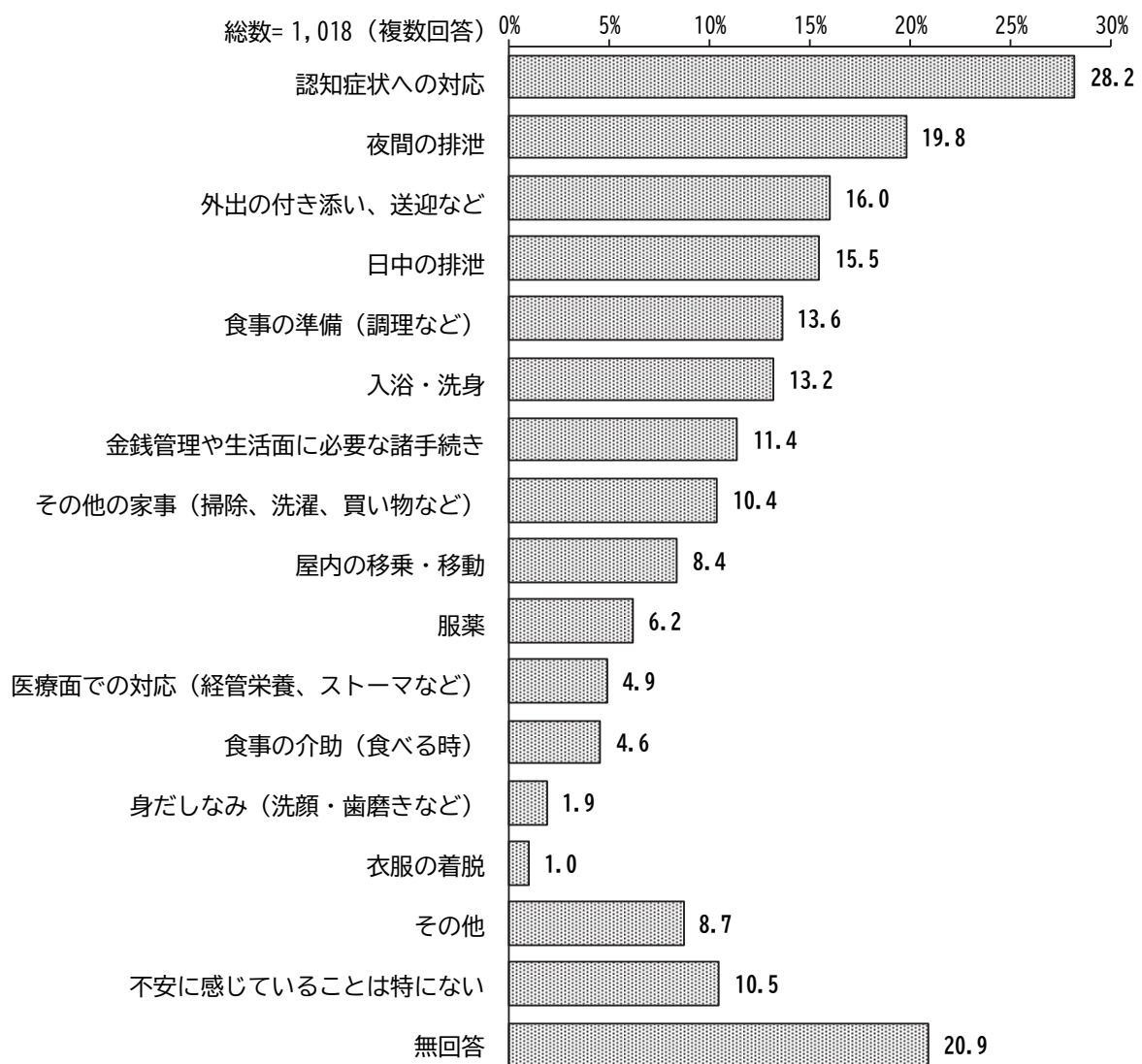
### (3) 主な介護者が不安に感じる介護の内容

問9 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などについて、お答えください。(〇は3つまで)

※現状で行っているか否かは問いません。

主な介護者が不安に感じる介護内容は、「認知症状への対応」の割合が28.2%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が19.8%、「外出の付き添い、送迎など」が16.0%となっている。

図表3-2-12 主な介護者が不安に感じる介護内容



### 3 主な介護者等の就労について

#### (1) 主な介護者の就労の状況、働き方の調整の有無

問10 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お答えください。(○は1つ)

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」の割合が49.6%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が25.1%、「パートタイムで働いている」が16.5%となっている。

図表3-3-1 主な介護者の勤務形態



主な介護者の勤務形態を主な介護者の性別でみると、「フルタイムで働いている」は男性が29.5%、女性が22.8%で男性が女性を6.7ポイント上回っており、「パートタイムで働いている」は男性が13.1%、女性が18.3%で女性が男性を5.2ポイント上回っている。また、「働いていない」の割合は、男性・女性とも50%程度となっている。

図表3-3-2 主な介護者の勤務形態（性別・年代別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

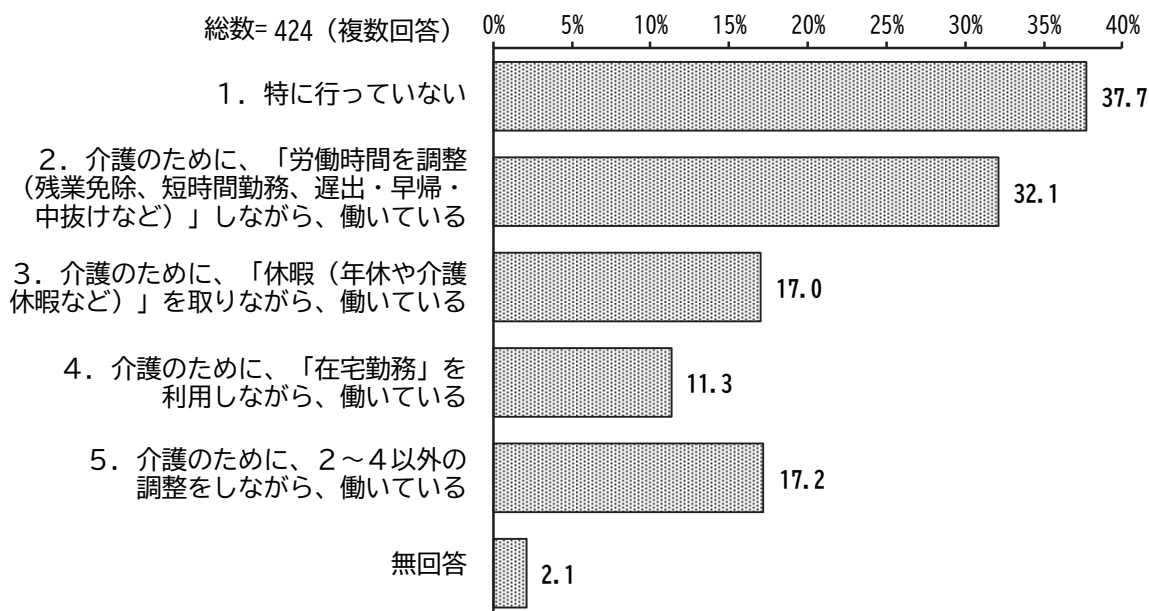
		全体	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	無回答
全体		1,018 100.0	256 25.1	168 16.5	505 49.6	89 8.7
主な介護者の性別・年代	男性全体	336 100.0	99 29.5	44 13.1	165 49.1	28 8.3
	18歳未満	-	-	-	-	-
	18~29歳	1 100.0	-	-	1 100.0	-
	30歳代	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-
	40歳代	16 100.0	11 68.8	4 25.0	1 6.3	-
	50歳代	72 100.0	37 51.4	8 11.1	21 29.2	6 8.3
	60歳代	84 100.0	28 33.3	15 17.9	36 42.9	5 6.0
	70歳代	75 100.0	14 18.7	12 16.0	42 56.0	7 9.3
	80歳以上	86 100.0	8 9.3	5 5.8	63 73.3	10 11.6
	女性全体	671 100.0	153 22.8	123 18.3	338 50.4	57 8.5
	18歳未満	-	-	-	-	-
	18~29歳	-	-	-	-	-
	30歳代	4 100.0	2 50.0	-	2 50.0	-
	40歳代	28 100.0	19 67.9	4 14.3	4 14.3	1 3.6
	50歳代	159 100.0	63 39.6	37 23.3	52 32.7	7 4.4
	60歳代	206 100.0	52 25.2	63 30.6	84 40.8	7 3.4
	70歳代	147 100.0	11 7.5	9 6.1	111 75.5	16 10.9
	80歳以上	126 100.0	6 4.8	10 7.9	84 66.7	26 20.6
	その他・無回答	11 100.0	4 36.4	1 9.1	2 18.2	4 36.4

【問10で「1」「2」（働いている）と回答した方におたずねします。】

問10-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整など  
をしていますか。（〇はいくつでも）

主な介護者の働き方の調整は、「特に行っていない」の割合が37.7%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜けなど）」しながら、働いている」が32.1%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が17.2%となっている。

図表3-3-3 主な介護者の働き方の調整の有無



主な介護者の働き方の調整を介護の頻度別にみると、「週に1～2日」と「不定期、必要な場合のみ」では「特に行っていない」の割合が最も高くなっており、「週に3～4日」と「ほぼ毎日」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」の割合が最も高くなっている。

また、「介護のために「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている」では、「週に1～2日」の割合が他の頻度よりも高くなっている。

図表3-3-4 主な介護者の働き方の調整の有無（介護の頻度別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	1. 特に行っていない	2. （残業免除、短時間勤務、遅出・早帰など）「しながら、働いている」	3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら、働いている	4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	5. 介護のために、2～4以外の調整をしている	無回答
全体		424 100.0	160 37.7	136 32.1	72 17.0	48 11.3	73 17.2	9 2.1
介護の頻度	週に1～2日	40 100.0	17 42.5	8 20.0	10 25.0	3 7.5	5 12.5	1 2.5
	週に3～4日	39 100.0	14 35.9	15 38.5	5 12.8	5 12.8	6 15.4	2 5.1
	ほぼ毎日	277 100.0	90 32.5	99 35.7	50 18.1	38 13.7	52 18.8	2 0.7
	不定期、必要な場合のみ	63 100.0	36 57.1	13 20.6	7 11.1	2 3.2	8 12.7	4 6.3
	無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	-	2 40.0	-



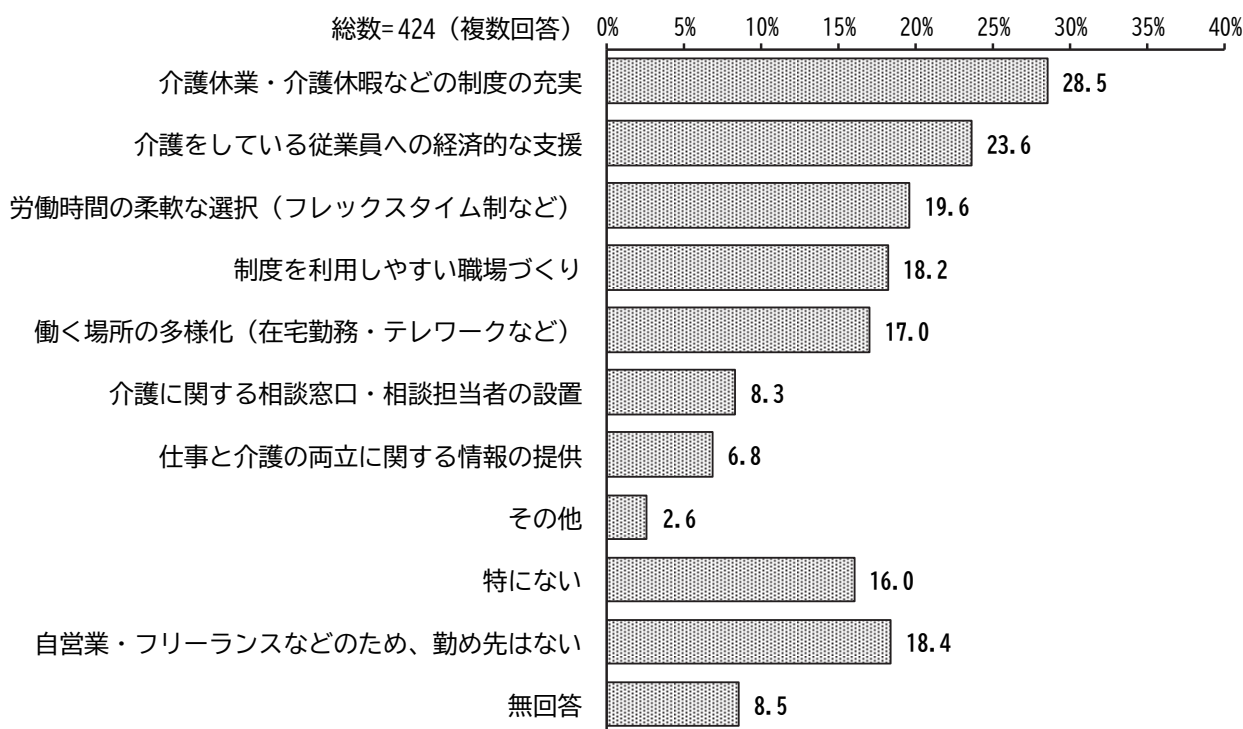
## (2) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

【問10で「1」「2」（働いている）と回答した方におたずねします。】

問10-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

仕事と介護の両立のための勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」の割合が28.5%で最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が23.6%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が19.6%となっている。

図表3-3-5 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



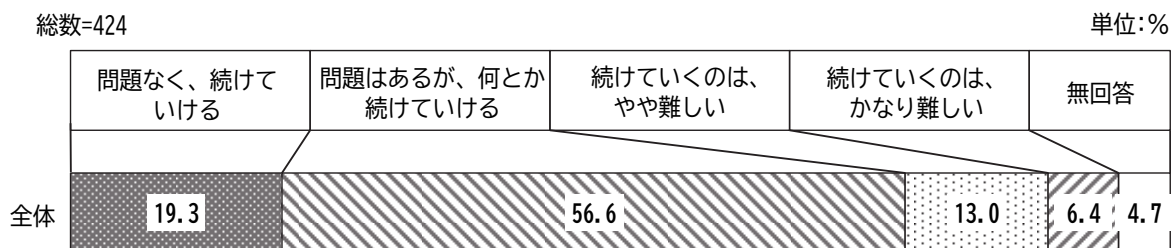
### (3) 主な介護者が働きながら介護を続けていける見込み

【問10で「1」「2」（働いている）と回答した方におたずねします。】

問10-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

主な介護者が働きながら介護を続けていける見込みは、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が56.6%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.3%、「続けていくのは、やや難しい」が13.0%となっている。

図表3-3-6 主な介護者が働きながら介護を続けていける見込み



主な介護者が働きながら介護を続けていける見込みを勤務形態別にみると、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた『続けていける』の割合は、「フルタイムで働いている」が79.3%、「パートタイムで働いている」が70.9%となっている。また、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは難しい』の割合は、「フルタイムで働いている」が16.8%、「パートタイムで働いている」が23.3%となっている。

図表3-3-7 主な介護者が働きながら介護を続けていける見込み（勤務形態別）

(上段：回答数、下段：構成比)

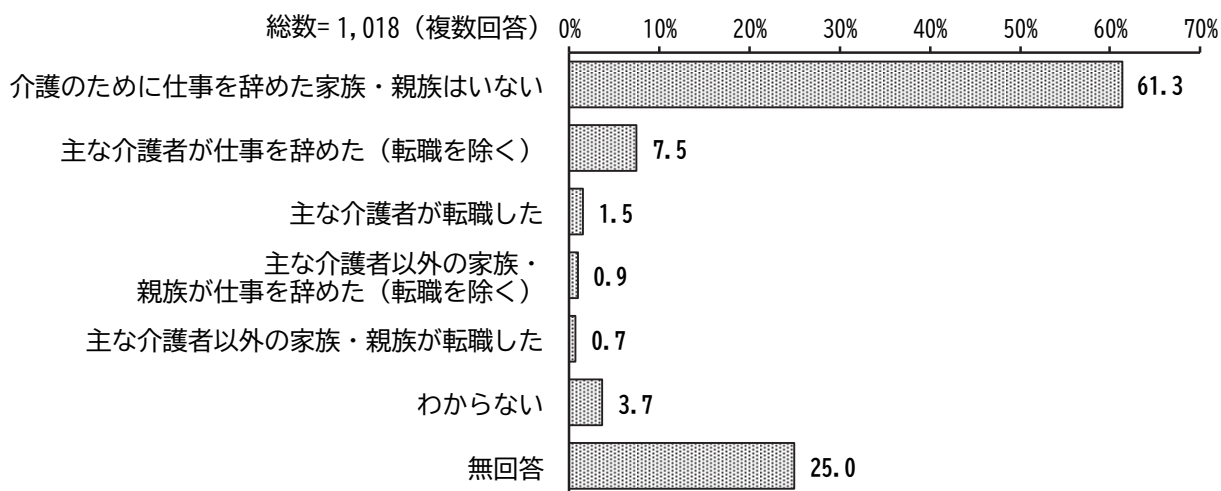
		全体	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	無回答
全体		424 100.0	82 19.3	240 56.6	55 13.0	27 6.4	20 4.7
勤務 形態	フルタイムで働いている	256 100.0	51 19.9	152 59.4	25 9.8	18 7.0	10 3.9
	パートタイムで働いている	168 100.0	31 18.5	88 52.4	30 17.9	9 5.4	10 6.0

## (4) 介護離職の状況

問11 ご家族や親族の中で、封筒のあて名の方の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(〇はいくつでも)

介護を理由とした離職・転職の状況は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が61.3%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」が7.5%、「主な介護者が転職した」が1.5%となっている。

図表3-3-8 介護を理由とした離職・転職の状況



介護を理由とした離職・転職の状況を被介護者の要介護度別にみると、「要介護1」から「要介護5」のすべての区分で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高くなっている。

「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」では、「要介護3」の割合が他の要介護度よりも高くなっている。

図表3-3-9 介護を理由とした離職・転職の状況（被介護者の要介護度別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	主な介護者が仕事を辞めた （転職を除く）	主な介護者以外の家族・ 親族が仕事を辞めた （転職を除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・ 親族が転職した	介護のために仕事を辞め た家族・親族はいない	わからない	無回答	
全体	1,018 100.0	76 7.5	9 0.9	15 1.5	7 0.7	624 61.3	38 3.7	255 25.0	
被介護者の要介護度	要介護1	314 100.0	16 5.1	3 1.0	4 1.3	1 0.3	211 67.2	10 3.2	71 22.6
	要介護2	258 100.0	19 7.4	-	4 1.6	4 1.6	152 58.9	13 5.0	68 26.4
	要介護3	157 100.0	18 11.5	3 1.9	1 0.6	-	100 63.7	4 2.5	32 20.4
	要介護4	103 100.0	6 5.8	1 1.0	3 2.9	1 1.0	59 57.3	3 2.9	30 29.1
	要介護5	89 100.0	8 9.0	2 2.2	1 1.1	1 1.1	56 62.9	2 2.2	19 21.3
	要支援1・2、 サービス事業対象者	16 100.0	1 6.3	-	-	-	7 43.8	-	8 50.0
	わからない	9 100.0	-	-	-	-	6 66.7	1 11.1	2 22.2
	無回答	72 100.0	8 11.1	-	2 2.8	-	33 45.8	5 6.9	25 34.7

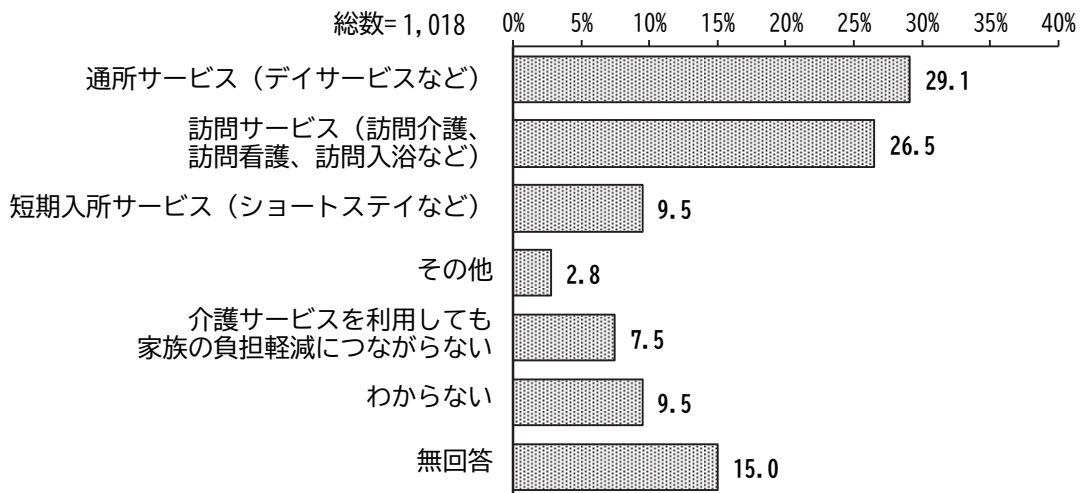
## 4 主な介護者の困りごと、介護者への支援などについて

### (1) 家族介護者の負担軽減につながる介護サービス

問12 介護サービスのうち、介護する方の負担の軽減に最もつながっていると思うものはどれですか。(〇は1つ)

介護する家族の負担軽減に最もつながる介護サービスは、「通所サービス（デイサービスなど）」の割合が29.1%で最も高く、次いで「訪問サービス（訪問介護、訪問看護、訪問入浴など）」が26.5%、「短期入所サービス（ショートステイなど）」が9.5%となっている。

図表3-4-1 家族介護者の負担軽減につながる介護サービス

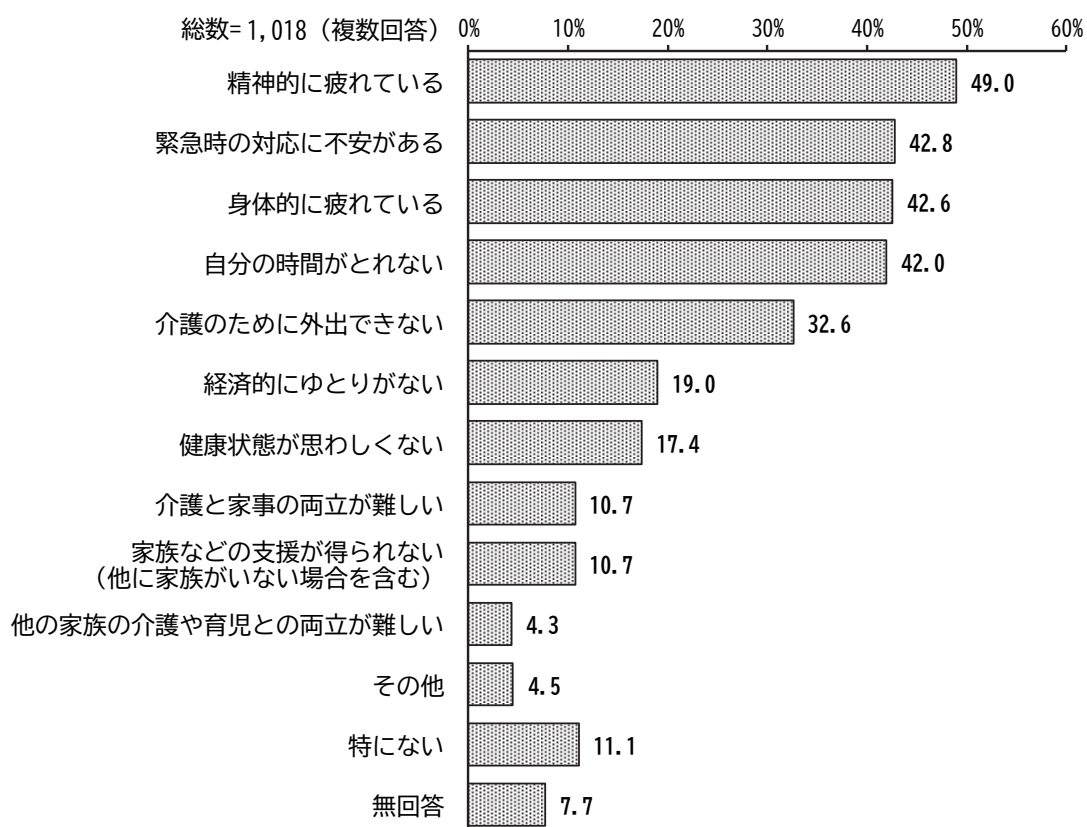


## (2) 主な介護者の介護と仕事の両立以外の困りごと

問13 主な介護者の方は、介護と仕事との両立以外にどのようなことにお困りですか。(〇はいくつでも)

主な介護者の介護と仕事の両立以外の困りごとは、「精神的に疲れている」の割合が49.0%で最も高く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が42.8%、「身体的に疲れている」が42.6%、「自分の時間がとれない」が42.0%となっている。

図表3-4-2 介護と仕事の両立以外の困りごと



介護と仕事の両立以外の困りごとを主な介護者の性別でみると、「身体的に疲れている」、「精神的に疲れている」で女性が男性を8ポイント以上上回っている。

また、年代別にみると、「自分の時間が取れない」、「精神的に疲れている」の割合は、年代が低い方が高い傾向が見られる。

図表3-4-3 介護と仕事の両立以外の困りごと（主な介護者の性別・年代別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

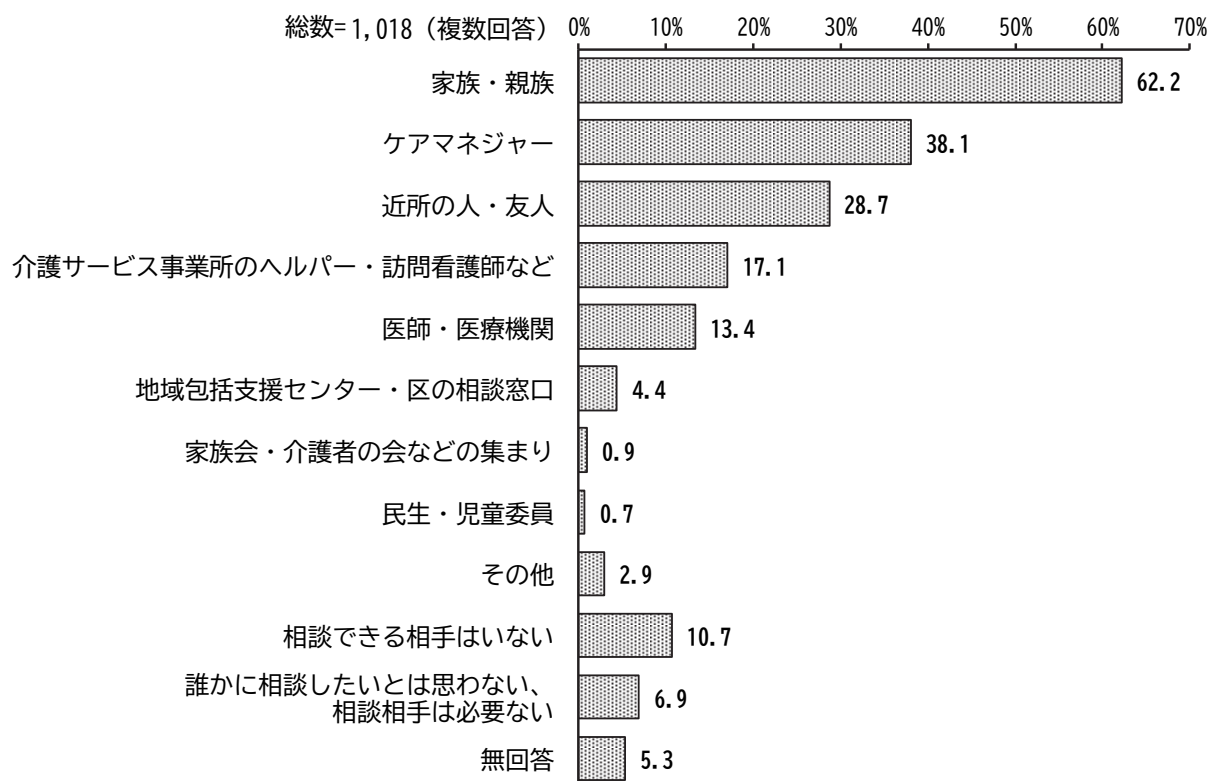
	全体	介護のために外出できない	他の家族の介護や育児との両立が難しい	介護と家事の両立が難しい	自分の時間がとれない	家族などの支援が得られない(他に家族がいない場合を含む)	身体的に疲れている	精神的に疲れている	健康状態が思わしくない	経済的にゆとりがない	緊急時の対応に不安がある	その他	特にない	無回答	
全体	1,018 100.0	332 32.6	44 4.3	109 10.7	428 42.0	109 10.7	434 42.6	499 49.0	177 17.4	193 19.0	436 42.8	46 4.5	113 11.1	78 7.7	
主な介護者の性別・年代	男性全体	336 100.0	103 30.7	6 1.8	23 6.8	129 38.4	25 7.4	115 34.2	147 43.8	64 19.0	76 22.6	136 40.5	9 2.7	55 16.4	22 6.5
	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	30歳代	2 100.0	1 50.0	-	-	2 100.0	-	1 50.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-
	40歳代	16 100.0	7 43.8	3 18.8	1 6.3	8 50.0	2 12.5	5 31.3	8 50.0	2 12.5	3 18.8	7 43.8	-	5 31.3	-
	50歳代	72 100.0	22 30.6	2 2.8	10 13.9	33 45.8	8 11.1	28 38.9	42 58.3	16 22.2	24 33.3	30 41.7	6 8.3	8 11.1	2 2.8
	60歳代	84 100.0	31 36.9	-	5 6.0	33 39.3	6 7.1	27 32.1	34 40.5	15 17.9	23 27.4	35 41.7	-	13 15.5	4 4.8
	70歳代	75 100.0	21 28.0	1 1.3	3 4.0	25 33.3	2 2.7	21 28.0	27 36.0	12 16.0	14 18.7	25 33.3	2 2.7	15 20.0	8 10.7
	80歳以上	86 100.0	20 23.3	-	4 4.7	28 32.6	7 8.1	33 38.4	33 38.4	19 22.1	12 14.0	38 44.2	1 1.2	14 16.3	8 9.3
	女性全体	671 100.0	225 33.5	37 5.5	85 12.7	297 44.3	83 12.4	315 46.9	349 52.0	111 16.5	114 17.0	296 44.1	37 5.5	55 8.2	55 8.2
	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	4 100.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0	-	-	-
	40歳代	28 100.0	8 28.6	6 21.4	6 21.4	16 57.1	5 17.9	16 57.1	15 53.6	6 21.4	5 17.9	19 67.9	1 3.6	1 3.6	2 7.1
	50歳代	159 100.0	54 34.0	15 9.4	19 11.9	81 50.9	28 17.6	76 47.8	94 59.1	22 13.8	36 22.6	72 45.3	11 6.9	9 5.7	5 3.1
	60歳代	206 100.0	76 36.9	14 6.8	32 15.5	94 45.6	19 9.2	93 45.1	106 51.5	34 16.5	29 14.1	95 46.1	12 5.8	19 9.2	10 4.9
	70歳代	147 100.0	43 29.3	-	15 10.2	58 39.5	19 12.9	67 45.6	74 50.3	26 17.7	15 10.2	66 44.9	8 5.4	13 8.8	13 8.8
	80歳以上	126 100.0	42 33.3	1 0.8	11 8.7	46 36.5	11 8.7	60 47.6	56 44.4	21 16.7	26 20.6	41 32.5	5 4.0	13 10.3	25 19.8
	その他・無回答	11 100.0	4 36.4	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1	4 36.4	3 27.3	2 18.2	3 27.3	4 36.4	-	3 27.3	1 9.1

### (3) 主な介護者の相談相手

問14 主な介護者の方は、介護をされていてつらいとき、愚痴をこぼしたり相談する相手はいますか。(〇はいくつでも)

主な介護者の相談相手は、「家族・親族」の割合が62.2%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が38.1%、「近所の人・友人」が28.7%となっている。

図表3-4-4 主な介護者の相談相手





主な介護者の相談相手を主な介護者の性別でみると、「近所の人・友人」、「家族・親族」では女性が男性を10ポイント以上上回っている。一方で、「ケアマネジャー」、「介護サービス事業所のヘルパー・訪問看護師など」では、男性が女性を若干上回っている。

図表3-4-5 主な介護者の相談相手（主な介護者の性別・年代別）  
（上段：回答数、下段：構成比）

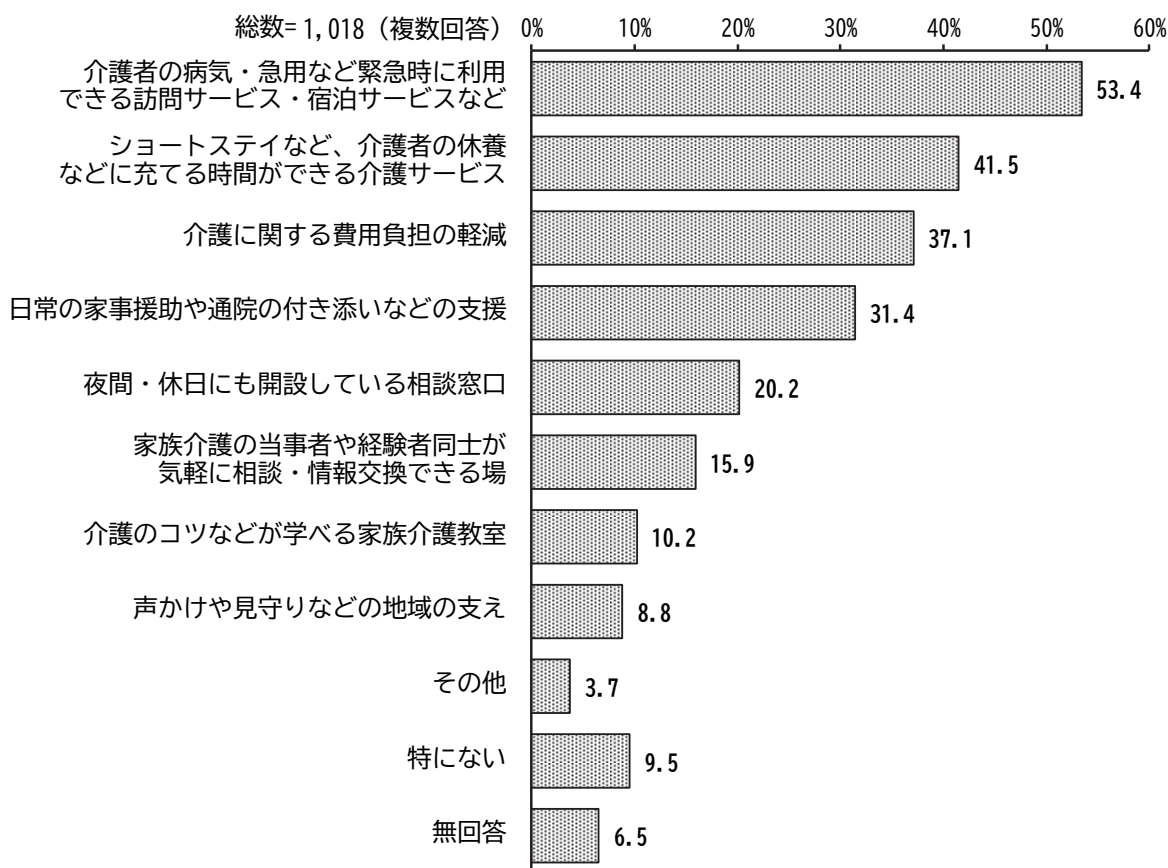
	全体	家族・親族	近所の人・友人	民生・児童委員	家族会・介護者の会などの集まり	ケアマネジャー	医師・医療機関	介護サービス事業所のヘルパー・訪問看護師など	地域包括支援センター・区の相談窓口	その他	相談できる相手はいない	誰かに相談したいとは思わない、相談相手は必要ない	無回答	
														回答数
全体	1,018	633	292	7	9	388	136	174	45	30	109	70	54	
	100.0	62.2	28.7	0.7	0.9	38.1	13.4	17.1	4.4	2.9	10.7	6.9	5.3	
主な介護者の性別・年代	男性全体	336	186	54	3	1	130	41	68	18	2	46	36	17
		100.0	55.4	16.1	0.9	0.3	38.7	12.2	20.2	5.4	0.6	13.7	10.7	5.1
	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	30歳代	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	16	6	1	-	-	5	1	2	-	-	4	3	-
		100.0	37.5	6.3	-	-	31.3	6.3	12.5	-	-	25.0	18.8	-
	50歳代	72	43	17	2	-	30	6	15	3	1	13	5	2
		100.0	59.7	23.6	2.8	-	41.7	8.3	20.8	4.2	1.4	18.1	6.9	2.8
	60歳代	84	44	10	1	1	40	15	20	7	-	10	7	4
		100.0	52.4	11.9	1.2	1.2	47.6	17.9	23.8	8.3	-	11.9	8.3	4.8
	70歳代	75	43	11	-	-	26	9	14	2	-	7	8	4
		100.0	57.3	14.7	-	-	34.7	12.0	18.7	2.7	-	9.3	10.7	5.3
	80歳以上	86	48	14	-	-	29	10	17	6	1	12	13	6
		100.0	55.8	16.3	-	-	33.7	11.6	19.8	7.0	1.2	14.0	15.1	7.0
	女性全体	671	441	235	4	8	252	93	104	27	27	62	34	37
		100.0	65.7	35.0	0.6	1.2	37.6	13.9	15.5	4.0	4.0	9.2	5.1	5.5
	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30歳代	4	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	
40歳代	28	16	14	-	-	7	-	3	2	2	3	1	1	
	100.0	57.1	50.0	-	-	25.0	-	10.7	7.1	7.1	10.7	3.6	3.6	
50歳代	159	101	59	-	1	59	16	18	6	9	23	12	4	
	100.0	63.5	37.1	-	0.6	37.1	10.1	11.3	3.8	5.7	14.5	7.5	2.5	
60歳代	206	148	86	2	4	82	27	38	6	6	14	4	9	
	100.0	71.8	41.7	1.0	1.9	39.8	13.1	18.4	2.9	2.9	6.8	1.9	4.4	
70歳代	147	103	49	1	2	60	25	25	3	6	10	5	5	
	100.0	70.1	33.3	0.7	1.4	40.8	17.0	17.0	2.0	4.1	6.8	3.4	3.4	
80歳以上	126	69	27	1	1	44	24	19	10	4	12	12	17	
	100.0	54.8	21.4	0.8	0.8	34.9	19.0	15.1	7.9	3.2	9.5	9.5	13.5	
その他・無回答	11	6	3	-	-	6	2	2	-	1	1	-	-	
	100.0	54.5	27.3	-	-	54.5	18.2	18.2	-	9.1	9.1	-	-	

#### (4) 主な介護者が求める支援

問15 主な介護者の方は、安心して介護をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

主な介護者が必要と考えている支援は、「介護者の病気・急用など緊急時に利用できる訪問サービス・宿泊サービスなど」の割合が53.4%で最も高く、次いで「ショートステイなど、介護者の休養などに充てる時間ができる介護サービス」が41.5%、「介護に関する費用負担の軽減」が37.1%となっている。

図表 3-4-6 主な介護者が求める支援



## 5 自由意見

問16 介護保険制度や高齢者保健福祉施策に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。

区に対するご意見・ご提案を自由に記入していただいたところ、202名の方から回答が寄せられた。

※原文の文意が損なわれないように抜粋して記載。

### 介護保険制度全般について

- 長く目黒区に住む高齢者が自宅で住み続けられるよう、区の利用料独自減額制度の拡充、買物支援や移動支援、家賃補助の拡充等、具体的な援助を行う必要があると思います。
- 国の保証ですべてが無償扱いとなったら良いと思います。介護関係企業やヘルパーに対しても、もっと保証すべきである。
- 介護行政にあまり財源を充てずに、効率的に必要な対応を行って頂ければよいと思っています。
- 紙の書類（介護計画や各種請求書、利用書等）が多く、整理するだけでも大変です。
- ケアマネ、サービス事業者のサービス内容や好評な声、苦情（トラブル）を開示し、利用者の本当に知りたいことを共有できるようにしてほしい。
- 日曜日も開設している窓口が月に1回でもあるとよいのではないかと思う。
- 体調を崩し、家庭で手に負えない状態になった時、すぐ入所できるような施設が都内に多く出来てほしい。
- 一番最初に介護について区に相談してみるまでの心理的ハードルがあった。最初にどうしたらよいか悩んでいるうちに日々過ぎていく人が意外にいるかもしれない。
- 低年金所得者の介護保険料軽減。

### 要介護認定について

- 介護度の認定判断の時は、正確に現状を見抜ける認定調査員を送ってください。
- 要介護1から要介護2へのギャップが大きいと感じています。その中間の要介護度を新設していただきたいです。
- 家族から見ると、最近難聴や認知のレベルが更に進んでいるが、家族に事前相談がなく要介護1のまま認定が更新されてしまった。

### 在宅サービスについて

- 訪問介護サービスで何をお願いできるのか、自費との区別などが高齢者には分かりづらい。介護サービスの利用料が一月にどれだけになっているか分かれるとありがたい。
- 人的サービスなのでヘルパーさんによっても介助の色あいも違うと思う。

- ショートステイなどを利用してほしいが、本人が拒むことをどのように解決していくかなどの情報が欲しい。世代的に他人の手を借りることを嫌がる傾向が強い為。
- 同居家族も仕事をしながら介護を任っているので、昼間一人で過ごすために必要なことを全て限られた時間で行うことには無理がある。健康で過ごせる時間を増やすために、昼食の買い物の付添いや外出支援があるとありがたい。
- 自分の緊急入院時に担当のケアマネジャーさんが個人的にゴミ出し等の支援をしてくれましたが、これらの一時的のぎには限界があると思います。同居する家族の健康状態に応じて受けられる家事支援サービスがあればいいと思います。
- 2件の訪問看護サービスを利用しているが、事業所により処置の内容等が大きく異なる。ケアマネジャーから紹介を受けたがサービス内容については何も分からない。
- 日常生活での清掃、買物など、限られた時間であわただしく去って行く人を見送るだけでも気分は晴れない。時間に余裕を持たせた介護サービスをつくってほしい。
- 94才父、88才母のふたり暮らしですが、ヘルパーさんに「ふたり暮らしは算定が難しい」と断られました。ひとり暮らしでないとヘルパーさんに頼めないのでは困ります。
- 介護者が不在の時の支援の充実や定期通院、治療、美容院の付添いをサービスに入れてほしい。
- 介護者の休養にもなるデイサービスの利用は大変助かっています。今後の希望としては、介護者の入院の際、期間限定でもすぐに利用できるデイサービスがあると良いです。
- デイサービスの内容の質を高めてほしい。認知度に関係なく同じ内容の事をやっているのでしょうか。父が幼稚園のような事をやるので行きたくないと申し出ておりましたので、母に勧めても行きたくないと言っています。内容の改善をお願いしたいです。
- 切り絵や折り紙、盆踊りなどのアクティビティを行っている通所介護が多いですが、もう少し洋風なものや若い人向きのアクティビティを行う施設もあって良いと思います。
- デイサービスは沢山あって良いですが、中には不安になるような施設もあります。施設や働いている方の調査は行われているのか気になります。
- デイサービスを利用出来る日をもっと増やしてほしい。施設での入浴も週三回あると良いと思います。
- ショートステイをもっと増やせませんか。介護者が一番安心して出かけられる、息抜きできる方法と考えます。しかし絶対数が少なすぎると感じます。
- ショートステイの予約がなかなか取れません。2～3ヶ月先までの予約が取れないと何かと予定がたちません。
- ショートステイが、突発的にも利用できる状況が常に整ってほしいと思います。
- ショートステイの条件や持ち物、健診必須など、泊まるまでのハードルが高過ぎます。
- ショートステイ施設でのリハビリのできる所がない。
- 医療的措置（喀痰吸引など）の対応ができるショートステイ施設を充実してほしい。
- 小多機、看多機を利用した場合、自宅への訪問サービスの日数が少ないので（人手不足のため）結局利用するのに不都合で意味がないと思う。

### 施設サービスについて

- 利用中の介護施設で、コロナクラスターが発生し、利用を控えざるをえなかった。本人は感染していないのが明らかなので、そのような場合に一時的にでも、他の施設を利用出来る様な制度、仕組みがあれば助かります。
- 現在、受給している年金の額内で援助が受けられる施設等がぜひ欲しい。
- 特養をもっと早く利用できるように、待機している人の状況を聞き取るサービス等が欲しい。
- 特養等、老人ホームを充実させてほしい。低価格で入所できるようにしてほしい。
- 特別養護老人ホームのように経済的に苦しい人が頼れる施設で、胃ろうなどの医療行為の必要な人をもっと受け入れられる体制が整ってくれないと、経済的にも精神や肉体的にも潰れてしまう人が増えるのではないかと思います。
- 介護度が低い認知症の人が入れる施設を増やしてほしい。

### ケアマネジャーについて

- 今のケアマネジャーは話を聞いてくれて相談にものってくれるが、以前はそうではなかった。ケアマネジャーのレベルで全てが決まる。もっとケアマネ全体のレベルアップを望みます。
- 医師に相談すると「ケアマネジャーと相談しなさい」と言われ、これを担当の地域包括支援センターに話しても具体的アドバイスは何もしてもらえない。ケアマネジャーと相談するにはどうしたらいいのか。話しをするところ、話しが出来るところが必要。
- ケアマネジャーが半年でケアマネジャー側の都合で2度変わった。
- ケアマネジャーが体調をくずして訪問や相談できない時の代行者がいれば、不安解消になります。
- ケアマネジャーの方が何でも手配して頂いてとても助かっているが、そもそもどんなサービスがあるのか、よく分からないので、提案されるまで知らない事ばかり。知っていれば、まだ体調がいいうちにショートステイ等活用したかった。

### 介護人材について

- 介護にたずさわってくださる方々の処遇や安全面の改善を望みます。周囲の話を聞くに、かなりハードな就業形態であったり、聞くだけでも気がかりなことが多くあります。
- デイサービスでリフト浴の際、ワキなどアザができました。職員の仕事への取り組み方が施設によってバラバラです。人手不足もあると思います利用者もがまんする時も多いです。職員の方の働く意識をもっと持ってほしいです。
- 介護サービス事業所のヘルパーさんの数が非常に少ないと感じます。
- ケアマネジャーさんやヘルパーさん、看護の方々にはたいへん支えになっていただいて本当に感謝しています。従事者の方の重負担がなくなる様、雇用確保や就労状態の改善のための介護に対する財政の充実を望みます。

○介護従事者の賃金アップ、若者に魅力のある職場環境の整備が問題解決の第一歩だと思います。

### 経済的負担について

○母は3割負担なので、その都度利用時の金額が大きいのでサービスを利用するにあたり躊躇しがちです。年間で考えるとかなり高額になって来ますので、その負担は何とかならないかと思います。他に補助などがあれば有難いです。

○主人は現在寝たきりの生活を送っています。訪問看護や訪問入浴にはとても助かっていますが、月末の料金の負担が大きく大変です。少しでも軽くなる様にして戴ければ、うれしいです。

○いろいろな面で助けられていますが、介護タクシー代が高すぎる。補助金を3万円ではなく4～5万円に増やしてほしい。

○介護用品が高すぎる。寝まき、くつ等。

○介護保険を利用しやすい金額水準に維持してほしい。

○介護保険を使っても自費が毎月多いので金銭面が不安。自分（介護者）も50代で給料が減っているので、もう少し負担が少なくなるようにレンタル料金等を軽減してほしい。

○遠距離介護者の為に、交通費が割引されるようになれば助かります。

○要介護の両親と自分（子）の3人で同居しています。両親共にわずかな国民年金の中で、生活費がまず優先となり、次に医療費、残りの僅かな額で介護サービスを受けるには限界があり、結局は同居する家族に負担がのしかかるが、それにも限界があり最終的には必要とするサービスが受けたくても受けられない実態があります。サポートする家族の費用負担面の見直しを早急をお願いしたいです。宜しくお願い致します。

○年金だけでは母の生活費が賅えないため、子供である私達が負担しなければならず、自分たちの将来が不安である。

### 将来への不安・悩みについて

○医療費、介護費が高くなり将来に不安を感じます。

○介護サービスの利用負担割合が将来上がった時、今と同じサービスを利用できるか不安です。

○フルタイムで勤務を継続する事が出来ず、勤務時間短縮の希望もかなわず退職しました。仕事にもつせず、ショートステイの利用を望んでも母の拒否が強く自分の時間や対外的なつき合いが全く無く閉鎖的な生活となりました。今後、母の介護度が進んだらという不安を抱えています。

○入浴等助かっています。不安なのは自分が倒れた時です。また、自分達の世代の時に誰がどのように介護をしてくれるのか…それを考えると暗い気持ちが倍増します。

○現在介護をしている我々世代が介護を必要になった時代に、十分なサービスを受けられる制度、予算があるのかとても不安です。

- 父が寝たきりになった場合、すぐにお問い合わせできる施設はあるのですか。不安です。
- 民間の有料老人ホームは増えてきていますが、とても資金が足りません。官民合同の低額有料老人ホームができてくれれば良いのですが。
- 老々介護には限度がある。妻が認知症で、私が万が一倒れた時、救急車を呼べるか、また、長男に連絡が取れるか、電話のかけ方が分かるかが一番心配だ。また、妻の心身の具合が悪く、側に付いていないとあぶないし危険と考えている。(私は88才、妻は86才)

### 家族介護について

- 介護者の会では、経験された方や同じように介護に頑張っている方々の現在進行中のお話も伺って参考になり、元気を頂いて帰って参ります。
- 私(86才)が夫(89才)を介護するのは身心共に疲れ果てる仕事です。自分自身の時間、自分を楽しむ余生がほしいです。
- 家族の精神的負担は非常に大きく、せめて金銭的な支援があれば多少なりとも余裕が生まれるとは思いますが。
- 79才になり、自分の事をするだけでいっばいで、だんだん通院の付き添い等大変になって来ました。いろいろ忘れる事が多くなりましたし、車イスを押すのも大変です。あまりにもお金が掛り、もっと区の方で助けて頂きたいです。
- 介護サービスを増やすとその分、金銭的な負担が増えるので仕事をしながら介護は難しい。
- 特養に関してのハードルを下げてほしい。数を増やすなど、もう少し自由度が必要だと思う。要介護3になるまでに家族は相当疲れていて、それでも親を老人ホームに入れるのは罪悪感があります。
- 就業しながら介護を続けることは、大変難しいと思います。勤務先の制度(介護休暇や在宅勤務)を利用できても、精神的ストレスを軽減することはできません。特養を将来的に増設していただくなどの施策運営をお願いいたします。
- 現在、訪問サービス、ショートステイをフルに使って介護しており、それ自体はとても助かっているし有難いことです。それでも同居する家族としては時間の束縛が大きく、また仕事で家をあけている間の不安(詐欺の電話や玄関のインターフォンが鳴ったときに転倒したりなど)や心労が大変大きいです。介護者が心身ともに休めるような仕組みがもう少し充実すると有難いと思います。
- 働きながら両親の介護をしている。2人共持病があり、入院したり外来診療を受けたりする必要があり、有給を取って付き添っている。自分が体力的にも精神的にも疲弊してしまう。医療費の負担も大きい。特に同居する家族への支援も必要と思われれます。
- この時代、介護の責任を家族のみに負わせるのはそろそろやめたほうが良い。
- 母の介護が必要になった時、1人で両親の介護を始めました。その時から自分の人生を生きていないので、自分自身、介護前、どんな人間だったのかも何が好きだったのかも思い出せません。介護者が病気や死亡して介護できなくなる時のために、全員特養入居、これを実現してください。

## その他

- 自立支援、介護、身障等、どれもよくしていただいておりますが、窓口がいろいろでやや煩雑な気がしますので、まとめられるとよいのですが…。
- 役所やサービス施設で、「お嫁さん」という呼び名を普通に使われ非常に不快な思いをしています。
- 現行の成年後見制度は、財産を少額しか持たない要介護者とその家族にとって使い勝手が悪い。もっと簡単に利用出来る様に法改正してほしい。
- 認知症だけでなく、精神疾患を患う人が入所できる区の施設等があればよいのですが。
- 介護老人福祉施設と託児所の融合した施設をつくってほしい。
- 転倒時などにかけてもらえる見守りサービスがあると、とても安心できます。
- 障害があると電話しても上手く出られず、会話や安否確認できないため、見守りカメラやスマホで操作できる玄関のキーロックの品などを増やしてもらいたい。
- よく見かける移動スーパー的なもので、数種類ある弁当や食材、日用品を本人が選んで買えるといいなと思います。
- 福祉タクシー利用券の増額。
- 散歩の際に座る所があちらこちらにあれば助かります。
- 可能な限り自宅で今まで通りの生活を送りたいと思っています。また、同様の当事者間で気軽に話せる場への参加を希望します。
- 話すことで日中独居の高齢者は気分的によくなるのではと思う。予防サービスをもっと充実させてほしい。
- 昔と違い親子同居がかなわない昨今、寂しく思う毎日、とり残された様に感じられる。1日1回でも人と接する事が出来たら良いと思う。福祉の力で何とかならないかしら。
- 長寿他、高齢化が進む中、認知症の人など地域や社会とつながるコミュニティー、活動等の暮らしやすい仕組みの実現を望む。
- 昨今の施設の職員による事件があり、両親をあずけるのが不安です。
- 介護にかかる費用の一層の軽減化や補助金の増額、減税をお願いします。